

新日本

シネスコ版

道新 10/13 物価増進の断絶 - 和歌山 - 150頁 (本編下77頁追加)
 中口新 10/17 函令 10/23 瀬戸内2か人 石島豊 117頁 ()
 高知新 10/28 本編同 No. 4 1 3 36.12.15
 新愛媛 10/26

一、首相ら暗殺計画ばれる

——国史会クーデター事件

警視庁公安部は右翼関係者で作っている国士会グループが、池田内閣を倒し社会党総評を襲撃して右翼政権を樹立しようという、クーデター計画をたてているのを察知。十二月十二日早朝福岡・長崎県警の協力を得て主謀者とみられる川南豊作以下十三人の容疑者全員を逮捕しました。
 そして、四百箇の鉄カブトをはじめ、防毒マスクやライフル銃など多数の武器類も発見したのでこの計画は旧陸軍士官学校五十九、六十期生を中心にした「国士会」グループが作り上げたもので旧陸軍の大立物桜井徳太郎中将が精神的支柱になっていたものとみられています。
 そしてその資金調達には元川南工業代表の川南豊作があたり韓国と密輸を行って荒かせぎしていたものです。

安保斗争をめぐる緊張や韓国クーデターなどに刺激されて、このような軍国日本の亡霊ともいふべき、右翼の活動が目立っており、全国民が嚴重な監視の目を向ける必要があります。

一、一九六一年

——スポーツ・ハイライト

空前のレジャー・ブームに反影された今年のスポーツ界では、白熱の野球ドラマを売り物に日本の人口の一割に近い観衆を動員したプロ野球、又若き英雄の出現をみた相撲・ボクシング等更にスポーツかギャンブルかとはともかくギャンブルによる適当なスリルを盛り込んだ競馬等のレースと特にプロスポーツの隆盛をみました。

一方、ローマオリンピックでは惨敗したアマチュア・スポーツ界も東京オリンピックでの再起をめざして外国選手との交流が華やかに行われました。

だが外国選手の残していったものは一にも二にも体力増強、そして精神力と偉大な教訓でした。又家元をはこり大平の夢をむきほった柔道迄も世界選手権では一敗地にまみえるに至り、三年後の現実を前に東京への道は余りにもけわしい過ぎる感があります。

カメラ・スケッチ

一、フロント人生

——和歌山

明眉な風光と歓楽で知られる白浜に、このほどデラックスなホテルが完成。
 より正確には、「りよてる」と呼ばれホテルと旅館をミックスしたものだ。そこに働く番頭さんもれっきとした営業部員。

最早そこには江の島仕込の番頭風情は惚ぶよすがもありません。
 旅館も「一夜の商品」とあってみれば、枕は高く頭は低くというのがこの道の鉄則。すべてを笑顔の下にかくして奉仕するフロント稼業は、謂うなれば旅行者のアシスタンスともいえます。

新愛媛 10/26
 名古屋版 一本編トろへ追加
 名古屋行の「青い鳥」オス回アルバート賞
 名古ヤ

24頁 211頁 244頁 244頁 244頁